

【音がく】^{ばそこん}パソコンなどで、みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜べんきょうすること＞



◆音のたかさに気をつけながら、『かっこう』（きょうかしよ 22～23 ページ）をけんばんハーモニカでふきましょう。

※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou2.html

- (1) 音のたかさに気をつけながら、『かっこう』をききましょう。うたえるようになるまで、くりかえしききましょう。
- (2) うたえるようになったら、かいめい（ドレミ）でうたいましょう。
- (3) けんばんハーモニカでえんそうしてみましょう。どうがをみながら、いっしょにやってみましょう。くりかえしれんしゅうすると、できるようになりますよ。
- (4) かっこうのなきごえのようにふくには、はじめの「ソ・ミ・」をどのよう
にふけばよいでしょうか。
また、なめらかにうたうかんじでふくためには、どんなふきかたがよい
でしょうか。
23 ページをみたり、ふいたりしながらかんがえてみましょう。（どうが
をみてかんがえましょう。）
- (5) 音のたかさに気をつけながら、うたうようなかんじで『かっこう』をふ
きましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・舌で音を切る「タンギング」は、3年生から学習するリコーダーにおいても大切な技能です。弾く楽器ではなく、吹く楽器であることを意識して、「トゥートゥートゥー」と、舌で音を切って演奏できるように、アドバイスをしてあげてください。また、強く鋭い音よりも、柔らかく優しい音を出せるよう、丁度よい息の量で演奏することも大切です。